



発行 東京片貝会
責任者 佐藤祐一 事務局 黒崎勝
〒252-1132 綾瀬市寺町中3921
電話 0467-76-3154

東京片貝会創立五十周年記念総会 御案内

上野精養軒で開催

期日 平成21年7月5日(日) 正午
会場 上野精養軒

初夏の候、皆様にはますますご清勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、当会の活動にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

かねてよりお知らせ致してきました通り本年には、本会も創立五十周年を迎えます。記念すべき総会を、左記要領にて開催致します。故郷の方々へもご案内をしております。

諸般ご多忙中とは存じますが、万障お練り合わせの上、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

一、日時：平成二十一年七月五日(日) 正午～三時(十一時より受付)

一、会場：上野精養軒 三階 桜の間

台東区上野公園四一五十八 電話〇三―三八二―二一八―

JR 上野公園口から徒歩五分

地下鉄 銀座線上野から徒歩十分

日比谷線上野から徒歩十分

京成線 上野駅から徒歩五分

一、会費：一〇、〇〇〇円

会場へのご案内 ご案内の詳細図は、会報送付封筒に同封されています。アトラクション 一、片貝伝統芸能保存会

「木遣り」「シャギリ」「巫女爺」

一、日本舞踊 琴演奏

片貝商工振興会

物産展

返信は6月15日までに届くようお願い致します。

東京片貝会創立五十周年に寄せて

会長 佐藤祐一

初代会長 安達龍作氏、佐藤景八氏、勝又功氏、阿部修次氏と続く歴代会長と役員諸氏の献身的な努力と会員のご協力に支えられて、本会が創立五十周年を迎えることになりました。まことにおめでたい事です。二年ほど前、黒崎勝副会長を委員長とする記念総会準備会が発足し、着々と計画を練っていたが今日に至りました。来る記念総会には多数の方々のご参加を役員一同お待ちしております。

携帯電話、Eメール、インターネットとめぐるしいばかりの情報伝達手段が発達している昨今ですが、このようなときこそ顔を合わせて、話し合う事が大切なのではないでしょうか。本会の存在がますます重要になってきます。未永く続くよう祈っております。最後になりますが、多大なご芳志をいただいた片貝町協議会、片貝町商工振興会の皆様、多くの会員の方々に厚くお礼申し上げます。

会の動き

理事会 12/21

於：新潟県人会館

佐藤会長以下19名

・会報発送 約八百部

・新年会打ち合わせ

・50周年記念関係打合せ

新年祝賀会 1/25

於：東京グリーンパレス

出席者 77名

会員75名、片貝来賓2名

二面を参照下さい

上野精養軒と打合せ 3/3

於：上野精養軒

出席者 3名

黒崎会長、吉井副会長

安達副会計理事

東京片貝会 次期会長選出

東京片貝会理事会は、12月に開催され、次期会長および事務局長を選出しました。七月五日の総会で承認を得て決定されました。

会長 藤塚 悟(31年卒) 事務局長 小宮 善興(31年卒)

また副会長他の役員は、総会承認後の理事会により選出されます。

会長に選出されました藤塚悟氏は、本会に長く尽力され母校を励ます会会長、副会長などの要職を務められました。現在葛飾区で、新越精機株式会社を経営され、取締役社長として活躍されています。

片貝町地域活性化

第一弾決定

片貝町地域活性化推進委員会は、最初の活性化具体案を決定した。案は、中越大地震で損壊した浅原神社の鳥居の活用で、記念モニュメント(街道みちしるべ)、史跡立て看板、小路名、通り名の表示、それらのマップ作成などである。町中を散策する人達をより受け入れ、活性化行動の源にしたいとしている。

(きょうぎ会47号)

片貝訃りが飛び交い 新年会 開催

平成21年1月25日
東京グリーンパレス



平成二十一年度の恒例新年会は、快晴の一月二十五日、会員75名、片貝からの来賓2名の77名が集まり開催された。司会は、お馴染みの芝強さん(38卒)と内藤富美子さん(43卒)で、黒崎勝(28卒)副会長の開会の辞で開会された。佐藤祐一(27卒)会長の挨拶では、「今回は40才代の方が5名参加頂けましたが、少子化の影響で東京方面の在住者も減少しています。7月5日の五十周年記念行事はイメージも固まり準備をしています。片貝の皆さんには、心遣いな

どをお願いし、大きなご協力を頂けそうです。是非ご出席下さい。」と述べられた。母校を励ます会の本田秀幸(37卒)会長から、ご協力のお礼、中学校からのお礼の手紙の紹介、教育講演会の実施報告と同窓会会長から続けて欲しいお願いなどの話があった。乾杯の音頭は、阿部修次前会長と阿部源一さん(15卒)のお二人で、明るく楽しい乾杯となった。片貝からの来賓の本田正憲氏(片貝商工振興会会長)から、雪が少なく、祭りは盛大にできた、また東京片貝会50周年行事には、一致団結し全面的にバックアップ体制ができた、安心して欲しいとの心強いお話があった。続いて名塚幸一氏(伝統芸能保存会会長)は、記念式典には片貝の保存芸能を楽しんで頂けるよう練習を積んでいきますと話された。

写真と沢山のご寄付があり、大変盛り上がった。自慢の喉のカラオケ大会の後、「ああ上野駅」「小学校校歌」そして、極めつけ「木遣り」を全員で歌い、万歳三唱を最年長の黒崎音吉さん(13卒)のご発声で会を閉めた。閉会の辞は安達弘之(30卒)副会長で五十周年式典では、皆さんと一人でも多くの人に会えますことを願っています。と式典の盛会を願う閉会となった。

平成20年度東京片貝会 会計報告

収支計算書

(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	945,028	総会費	880,930
年会費(276名)	552,000	新年会費	520,930
総会費(79名)	553,000	役員会費	22,540
ご祝儀(22名)	212,000	片貝祭奉納祝酒費等	70,000
新年会費(75名)	525,000	新潟県人会関係費	25,000
寄付金(22名)	39,000	通信費	118,660
50周年記念寄付金	719,500	会報印刷費	337,983
50周年記念広告代	700,000	事務費	24,165
郵便貯金受取利息	1,032	小千谷新聞購読料	11,616
		郵便振替等手数料	34,180
		交通費	20,000
		慶弔・お見舞費	20,000
		次年度繰越金	2,160,911
合計	4,246,560	合計	4,246,560

貸借対照表

平成21年3月31日

科目		科目	
金額	金額	金額	金額
郵便通常貯金	2,086,159	平成21年度分会費	324,000
郵便振替	8,752	次年度繰越金	2,160,911
定期貯金	290,000		
50周年総会前払費	100,000		
合計	2,484,911	合計	2,484,911

上記のとおりご報告いたします 平成21年3月31日

会計 諸我 時天 謹啓

上記は適正であることを認めます。

会計監査 本下 伸 謹啓

会員短信

吉原 榮一 (昭22卒)
毎年町内県人会の新年会とかち合います。七月の五十周年記念大会総会には出席したいと思えます。

安藤 真里子 (昭26卒)
昨秋は古稀の花火で(最高のお天気に恵まれ)最高の年でした。

本田 利美 (昭38卒)
七月五日50周年は参加を予定しています。幹事さんお世話になります。

西沢 薫 (昭41卒)
小宮さんのまつりの絵ステキですね。

浅田 政行 (昭47卒)
熊本に来て8回日の正月です。子供もバリバリの熊本弁です。

本田秀幸、松井京子、阿部 武、小野塚和夫、芝 強、三重堀国治、佐藤正志、相崎俊夫
〔昭和41〕
安達徹、小林和弘、内藤富美子、安達智子、徳永隆浩、徳永雅史、堀井ひとみ、吉井伸子
〔50周年寄付金者名〕(敬称略)
(H20年11月1日から
H21年4月末日)
多くの会員の方々、片貝町の皆様から多大なご芳志をいただき厚くお礼申し上げます。

〔会 員〕
浅田鉄二、高橋博明(忠夫)、芝三四司、小宮秀夫、本田ユキ、城所テル、松下利夫、江澤キヨ、上田益美、気田登美、庄司とら、浅田栄三、佐藤昭六、中島ヨシ、山口光雄、浅田松夫、阿部修次、佐藤安治、山口明男、友田善智、吉原栄一、山本文子、大塚順一、忍足良子、倉田京子、木村ナガ、小嶋ミツ子、大坂照子、安藤眞里子、高橋一郎、千葉悦子、小宮秀雄、石橋行夫、吉原靖子、佐藤祐一、藤塚浩治、矢尾板文江、守屋ヤウ、黒崎勝、相内テル、奥瀬洋子、吉原武夫、吉原宏、吉井均、小宮信雄、本田十雄、木曾忠治、安達弘之、軍司雅子、小野塚清、芝満雄、藤塚悟、黒崎玲子、古川哲子、渡辺千香子、神林省三、山家恵美子、小宮三郎、五十嵐哲郎、工藤イヅ、芝文夫、広沢雅子、本田利美、阿部武、小野塚和夫、芝強、天野八重子、佐藤正志、安達徹、安達智子、徳永隆浩、徳永雅史、堀井ひとみ、三重堀国治、相崎俊夫、西沢薫、小林和弘、内藤富美子、相川容子、大塚順一、稲川恵子、小宮善典
〔片貝町〕
片貝町協議会、JA越後おちや、片貝町体育協会、伝統芸能保存会、吉原印刷株、株藤塚組、安部蘭科医院、
川上東陽、友田明石、小宮博行、木曾勘次、黒崎哲郎

母校を励ます会・報告

温かいご支援ありがとうございました

第27回 教育講演会
講師(内定) お知らせ

講師 高野 昭人氏
演題 「出会いを大切に、
広がる世界」(仮題)

略歴 双葉会(山屋出身)
片貝小、中学校卒業
長岡高校卒業

富山医科薬科大学薬学部卒業

富山医科薬科大学大学院卒業

薬学博士
ロート製薬株、金沢大学

現職 昭和薬科大学准教授
薬用植物園園長

講演概要

片貝町に生まれた気の弱い泣き虫の一人の少年が、成長に伴い、致々の出会いと別れを重ね、また幸運にも恵まれ、世界の秘境であるヒマラヤやブラジル・アマゾンを訪ねる。研究者になりました。誰が想像したでしょうか? これまでの50年間で経験したことをお話ししたいと思います。

「母校を励ます会基金協力者氏名」
(敬称略・順不同)
(H20・11・15 H21・3・31)
日下部政子、芋川トシ、丸山春、芝三四郎、黒崎音吉、小宮秀夫、太刀川三郎、本田ユキ、城所テ

平成20年度東京片貝会母校を励ます会・会計報告

収支計算書

(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

単位円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	1,151,633	図書寄付金	200,000
基金協力金(176名)	291,500	講演会費	20,000
受取利息	754	交通費	40,000
		事務費	378
		次年度繰越金	1,183,509
合計	1,443,887	合計	1,443,887

通算収支計算書

(自昭和58年5月 至平成21年3月31日)

単位円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
基金協力金	7,774,700	図書寄付(26回)	5,600,000
(延 2,979名)		小学校130周年寄付金	200,000
受取利息	337,827	中越地震小・中見舞金	200,000
		講演会(25回)	380,000
		会費補助	35,000
		印刷・通信費	84,724
		交通費	350,000
		事務費	8,671
		懇親会費	70,000
		雑費	623
		次年度繰越金	1,183,509
合計	8,112,527	合計	8,112,527

貸借対照表

平成21年3月31日

単位円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
郵便通常貯金	603,509	次年度繰越金	1,183,509
定額貯金	580,000		
合計	1,183,509	合計	1,183,509

上記のとおりご報告いたします

平成21年3月31日
会計 諸 我 時 天

上記は適正であることを認めます。

会計監査 本下 伸

ル、松下利夫、浅田栄三、江澤キヨ、小宮幸雄、山口光雄、高野賢、安達和三、安達弘男、安部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、佐藤安治、星野イキ、友田善智、豊島文枝、吉原栄二、黒崎正、山本文子、倉田京子、吉木マツエ、山口弘、木村ナガ、小嶋ミツ子、安達実、高橋一郎、安達進、吉原靖子、藤塚文顕、佐藤祐二、藤塚浩治、松岡規子、久賀友作、黒崎勝、小松原美枝、守屋ヤウ、矢尾板文江、安達隆、相内テル、奥瀬洋子、吉原武夫、吉原宏、吉井均、宮下愛子、野崎真知子、松本キイ、安達弘之、木曾忠治、軍司雅子、小野塚清、大塚國夫、小宮善興、芝満雄、藤塚悟、黒崎玲子、古川哲子、重原文明、浅田達夫、渡辺千香子、諸我時夫、大塚功績、安達弘、井上知子、神林

省三、山家恵美子、小宮三郎、工藤イツ、広沢雅子、寺町明美、本田秀幸、松井京子、堀井潔

本購入のための御寄付のお礼

片貝中学校長 佐藤 信
図書館担当 高橋信之

先日、生徒のために本購入の御寄付をいただきました。へんありがとうございます。御座いました。毎年、この御寄付により、様々な本を購入させていただいており、厚く感謝申し上げます。

今年度の図書委員会では、全校生徒からアンケートをとりました。また話し合ったりした結果、各学級に学級文庫としての本を購入することにしました。生徒は朝読書や昼休み等、本に親しんでいきます。今後とも本を読む楽しさを生徒に広げていく活動を推進していきたいと存じます。



今後とも御支援・御指導の程宜しくお願い申し上げます。

第五十八回箱根駅伝

片貝出身の浅田洋平君頑張る

正月二日、三日に行われた新春の風物詩「箱根駅伝」に拓殖大学の選手として、片貝町(屋敷)出身の浅田洋平君(顔翔会)が快走した。浅田選手は、復路8区、平塚〜戸塚間を、22チーム中9位の好成績で走り抜けた。拓大の最終順位は17位であった。



浅田選手は、片貝中を卒業後、中越高校へ進学、三年生の時には、県代表校として全国大会の京都の都大路を走った。その後、拓殖大学政経学部に進学、駅伝部メンバーとして、予選会から四年ぶりの出場であった。

箱根駅伝 優勝 「東洋大学」と井上円了

第五十八回箱根駅伝は、東洋大学が初の総合優勝を果たした。東洋大学は一八八七年創立の「私立哲学館」が前身である。創立者は、浦(田越路町)出身の井上円了である。円了は、浦の慈光寺で生まれ、昨年生誕150年であった。円了は、八才頃から一里近く離れた片貝池津の石黒塾へ通った。大雪や暴風雨の時でも一日も休まず、勉学に励んだと伝えられる。石黒塾は、ご存知の片貝池津の石黒忠恵が17才の時に開いた学塾である。忠恵は、村校耕読堂で学び、校務の助けを行っていた。その後の勉学と活躍は、目を見張るものがあり、軍医総督、日本赤十字社社長などの要職を歴任された。

お祝い・は・今

H 20年12月から
H 21年5月まで

母校近況

■小学校

集団風邪で学級閉鎖

片貝小は正月明け頃から、集団風邪の流行が見え、1/14五年生の一クラスで学級閉鎖となった。二月に入つて更に悪化し、2/27から五年生を除く全学年で数日間の学級閉鎖の処置がとられた。

スポーツ振興の集い

児童奨励賞を受賞

平成二十年度スポーツ振興の集いで、児童奨励賞の表彰が行われ「片貝スーパードボーズ」(ミニバスケットボール)が日頃の活躍を評価され受賞した。

四年生二人が一日消防署長

小千谷消防本部は、火災予防運動の一環として、片貝小四年生の品田健陽さんと小宮雪姫さんが一日消防署長として辞令を受け、制服姿で工場見学やPRを行った。

小学校卒業式と入学式

卒業式は3/21に行われ、47名が晴れて卒業した。入学式は、4/6で、一クラスの32名である。全校生徒数225名で前年より12名少ない。市内の児童数は昨年度より、109名の減少で少子化は続いている。

■中学校

魚沼市主催全国短歌大会

中学の部で館長賞受賞

第十四回宮柵二記念館全国短歌大会が開催され、中学生の部で片貝中の安達賢君が見事「宮柵二記念館長賞」を受賞した。

集団風邪で学年、学級閉鎖

小学校と同じように、中学校でも風邪の感染が広がり、一年生は2/17から二日間学級閉鎖、うち一クラスは19日も学級閉鎖となった。また、二年生は、3/3・4と学年閉鎖となり、片貝小、中学校の被害は大きかった。

第62回卒業式

三月六日、第62回卒業証書授与式が行われ、ドリム学年の41名が卒業した。

新年度の生徒数は、①47、②45、③42の計134名で、昨年度に比べ7名の増である。

片貝中学校同窓会入会式

同窓会の入会式は、三月二日開催され、卒業生41名が新しく仲間入りした。会名は「輝虹会(きこうかい)」と決まった。式での先輩の講演は、箱根駅伝で活躍した浅田洋平さんで、恩師のことや走る喜びを話され、励まされた。その後、伝統芸能保存会から、木造りの指導が行われた。

EOJKAJU

小山墓地公園に

観音菩薩像を建立

小山墓地公園は、浅原神社の裏手にあり、四乃町が主体で管理している。十一月七日永代供養墓の竣工式が営まれた。高さ約五mの観音菩薩像とその下にある共同納骨堂、倉庫などが完成した。

復興祈念富士山ライトアップ

四乃町でイベント

十二月三十日、震災復興祈念新春イベントとして、四乃町で高さ約五mの富士山の絵にイルミネーションと提灯でライトアップ「新年を良い年に」とアピールした。餅つき、豚汁、甘酒などを来場者に振る舞い好評であった。

浅原神社二年詣り賑わう

浅原神社の二年詣りは、百八発の花火の打ち上げで有名となり、近郊からの参拝者を含め例年になく人出であった。御神矢と御酒のセットは、ほぼ完売したが、賽銭は例年よりかなり落ち込んだと報じられた。

新野製菓(株)

「天地人のり絵巻」煎餅発売

NHKテレビの「天地人」の直江兼統の地元にあやかり、新野製菓は、蓄積された技術を生かし、「煎餅」のり絵巻」を発売した。県内のスーパー、



寒稽古とドイツとの交流

空手の光武会は、小林光紀会長(浄照寺住職)が主宰し、市内、長岡市など五ヶ所で行われた。三月八日から一週間、ドイツから九名が片貝町の道場を訪れ、合同稽古、昇級、昇段審査に臨んだ。ドイツとの交流も深まり、活性化に一役かっている。

空手光武会

寒稽古とドイツとの交流
空手の光武会は、小林光紀会長(浄照寺住職)が主宰し、市内、長岡市など五ヶ所で行われた。三月八日から一週間、ドイツから九名が片貝町の道場を訪れ、合同稽古、昇級、昇段審査に臨んだ。ドイツとの交流も深まり、活性化に一役かっている。

塞の神行事盛大に行われる

小正月の風物詩「塞の神」が、今年も雪の少ない一月十一日浅原神社の境内で行われた。行事は昼夜にわたり、モックラモチ、おんまいど、餅まき、一〇八灯のローソク、小、大賽の神の点火、新成人

お祝いのスターメイン打ち上げと盛大に繰り広げられた。

お祝いのスターメイン打ち上げと盛大に繰り広げられた。秋の片貝まつりに匹敵する伝統行事で、冬の想い出を訪ねて会員の皆様いかがですか。不況の波襲う

鴻巣のパナソニック閉鎖

パナソニックの子会社パナソニックコミュニケーションズ(株)は、二月五日鴻巣にある新潟工場を六月末を以て閉鎖すると発表した。正社員245人のうち130人が現地採用者で、小千谷市内の住民は約80人。正社員は、九州の工場へ転勤の方針とのこと。

トキが片貝町へ

二月九日、片貝町でトキが日撃されたとの情報(日撃者関前市長)があった。また同日夕方には十日町市北部で撮影され確認されている。三月二十四日には、小千谷市郊外で、また上越市や長野市でも確認され、トキが元氣よく挨拶まわりをしている。(?)

片貝三乃町で火災発生

二月二十八日、三乃町の無職佐藤昭昭さん宅から出火、木造一部、階建てを全焼した。今年、管内で最初の住宅火災であった。

片貝町福祉の集い

福祉の団体が意見交換
片貝町福祉会(古原幸至会長)は、町で福祉活動を展開

中の団体が意見交換などを行う「片貝町福祉の集い」を、月十二日開催した。出席者は民生委員、子育て支援つき会、読み聞かせの会、配食ボランティア、J.A女性部、老人クラブ、デイホームの七団体の代表者約四十人。また建設中の福祉施設について説明があり、八月末完工の予定。

春のエレクトーン

コンサート開催
エレクトーン春のコンサートは、四月十八日片貝総合センターで、百八十人の聴衆を集め盛況に開催された。エレクトーンの演奏は、安達美登里さん(一乃町)、バイオリンは友情出演の横山和男さん(池津)で、震災復興祈念「故郷に流れよ音の力、歌の讃び」のテーマで、「片貝木造り」や「小、中校歌」などもあり、みんなで歌える曲を中心にした楽しい音楽会であった。

片貝町 人の動き

- 片貝協議会
会長 川上東陽さん
副会長 木曾勘次さん
片貝町煙火協会
会長 太刀川忠雄さん

あとがき

今年は創立50周年、会報は80号となります。みんなの環で長く続けたいものです。上野の森で楽しい木造りを歌いまししょう。(小宮)